

令和2年 火災・救急・救助の概要

高砂市消防本部

目 次

【火災】

1	火災の概要	1
(1)	出火原因	1
(2)	死者及び負傷者	1
(3)	建物焼損棟数及びり災世帯数	1
(4)	損害額	1
2	火災発生状況（前年との比較）	2
3	年別火災件数、損害額及び火災種別	3
(1)	年別火災件数及び損害額	
(2)	年別火災種別件数	
4	月別火災発生状況	4
5	時間別火災発生状況	5
6	曜日別火災発生状況	5
7	地区別火災発生状況	6
8	火災覚知状況	6
9	出火原因及び損害額	7
10	初期消火状況	7
(1)	初期消火実施状況	7
(2)	初期消火器具使用状況	7

【救急】

1	救急の概要	8
(1)	事故種別	9
(2)	傷病程度別搬送人員	9
(3)	新型コロナウイルス感染症について	10
2	救急出動状況（前年との比較）	11
3	月別出動件数	12
4	時間別出動件数	13
5	曜日別出動件数	13
6	地区別出動件数	14
7	急病にかかる疾病分類別搬送人員状況	14
8	現場到着所要時間別出動件数	15

9	病院収容所要時間別搬送人員状況	15
10	年齢区分別傷病程度別搬送人員状況	16
11	発生場所別搬送人員状況	16
12	応急処置実施件数	17

【救助】

1	救助の概要	18
2	救助出動状況（前年との比較）	19
3	月別出動件数	20
4	地区別出動件数	20
5	救助種別及び傷病程度別出動件数	21
6	救助種別及び発生場所別出動件数	21

【火災】

1 火災の概要

令和2年の火災件数は26件（前年比1件増）で、約14日に1件の割合で火災が発生したことになります。また、出火率（人口1万人あたりの火災件数）は2.9件となり、前年から0.1件の増加となりました。

火災種別では、建物火災が14件（前年比2件増）で、全体の54%を占め、車両火災が2件（前年比1件減）、その他の火災が10件（前年比増減なし）となっています。

(1) 出火原因

火災件数26件の出火原因は、放火（疑い含む）が6件、火入れが5件、電気装置が2件、こんろが2件、たばこが1件、ストーブが2件、こたつが1件、配線器具が1件、その他が6件となっています。

(2) 死者及び負傷者

火災による死者は0人（前年比増減なし）、負傷者は6人（前年比4人増）となっています。

(3) 建物焼損棟数及びり災世帯数

建物焼損棟数は27棟で、内訳は全焼4棟、半焼1棟、部分焼12棟、ぼや10棟となっています。

り災世帯は21世帯で、り災人員は44人となっています。

(4) 損害額

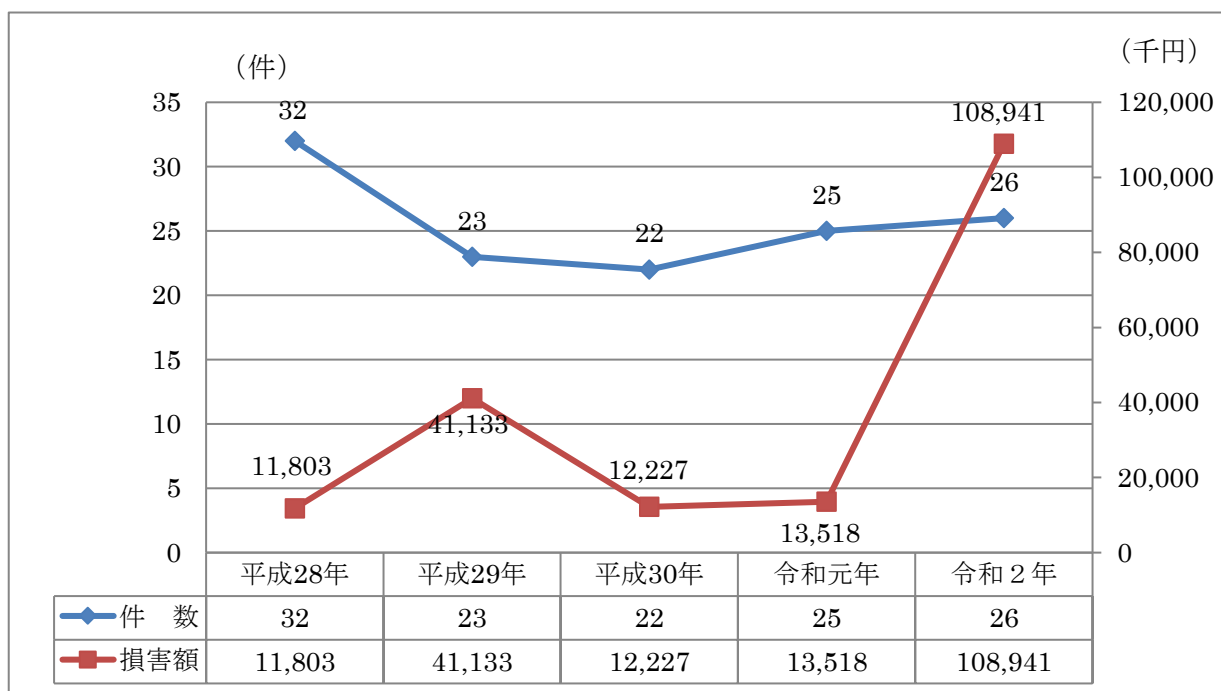
建物（収容物を含む）の損害額は108,393千円（前年比99,570千円増）で、建物1件あたりの損害額は約7,742千円となっています。

2 火災発生状況（前年との比較）

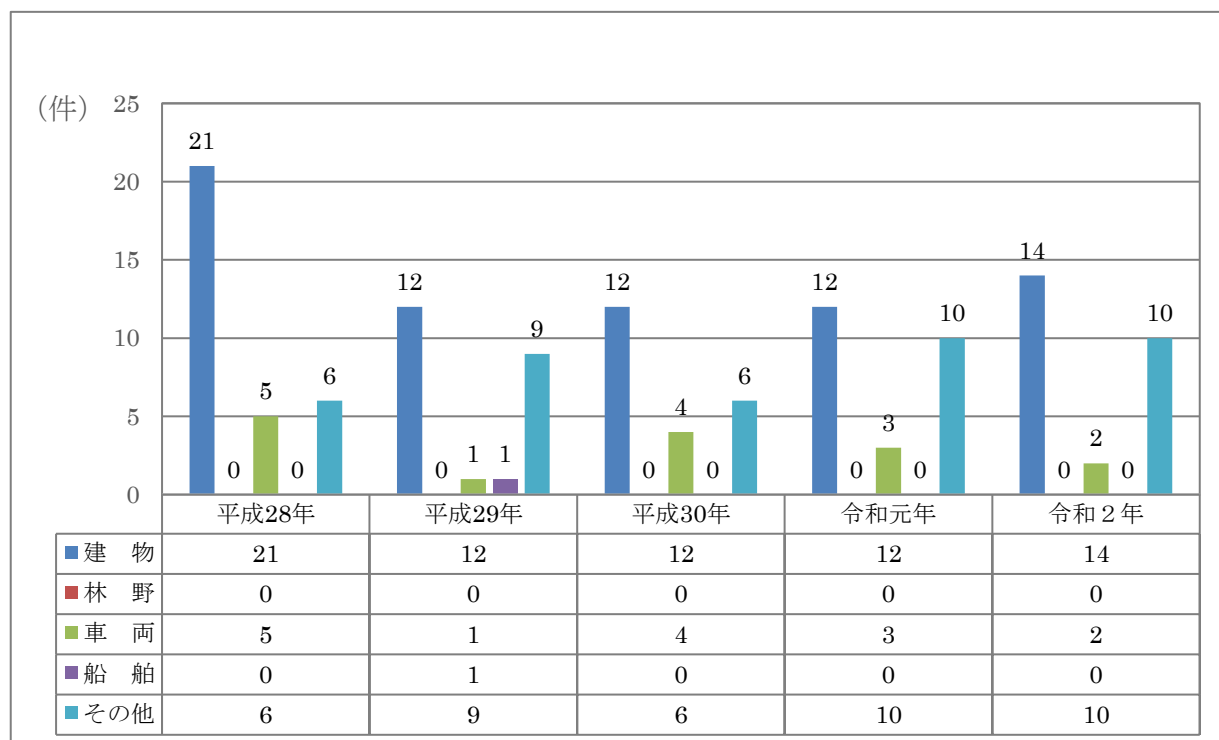
区 分		年 別	令和元年	令和 2 年	増 減 (△は減少)
火 災 件 数	建 物 火 災		12	14	2
	林 野 火 災				
	車 両 火 災		3	2	△1
	船 舶 火 災				
	航 空 機 火 災				
	そ の 他 の 火 災		10	10	0
	合 計		25	26	1
損 害 額 (千円)	建 物		8,823	108,393	99,570
	林 野				
	車 両		461	486	25
	船 舶				
	航 空 機				
	そ の 他		4,234	62	△4,172
	合 計		13,518	108,941	95,423
焼 損 面 積	床 面 積 (m ²)		32	511	479
	表 面 積 (m ²)		5	162	157
	林 野 (a)				
焼 損 車 両 台 数			3	2	△1
焼 損 棟 数	全 焼			4	4
	半 焼		1	1	0
	部 分 焼		4	12	8
	ぼ や		8	10	2
	合 計		13	27	14
り 災 世 帯 数			7	21	14
り 災 人 員			19	44	25
死 者					
負 傷 者			2	6	4

3 年別火災件数、損害額及び火災種別

(1) 年別火災件数及び損害額



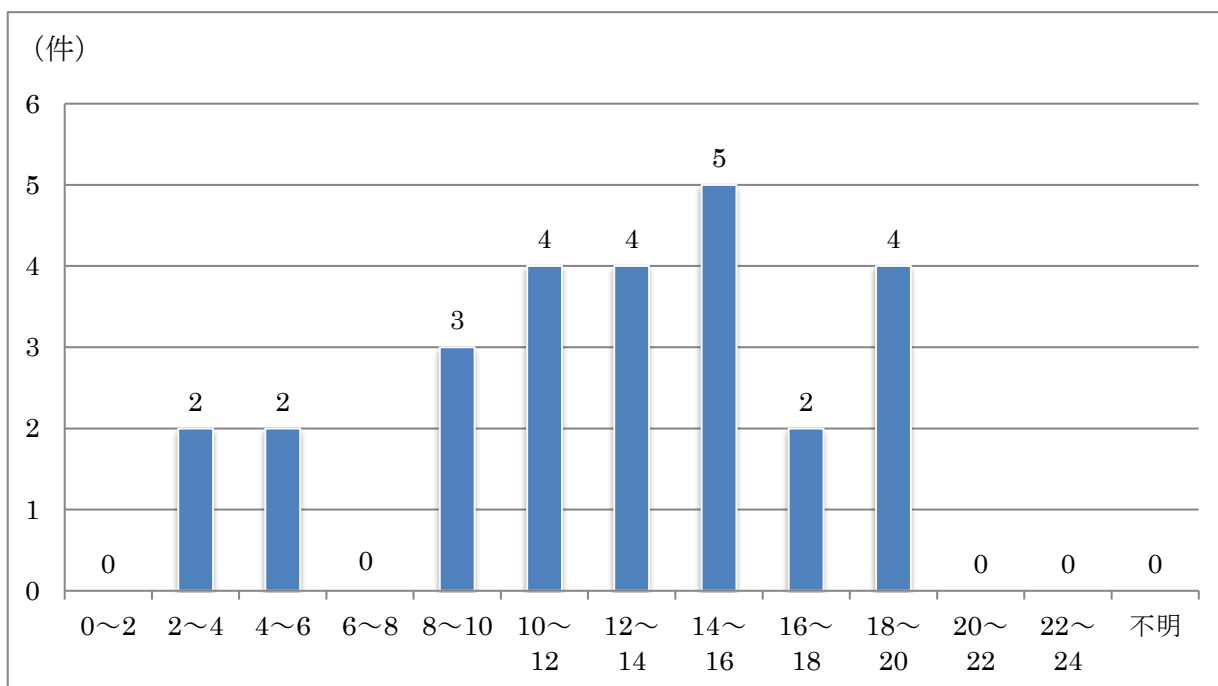
(2) 年別火災種別件数



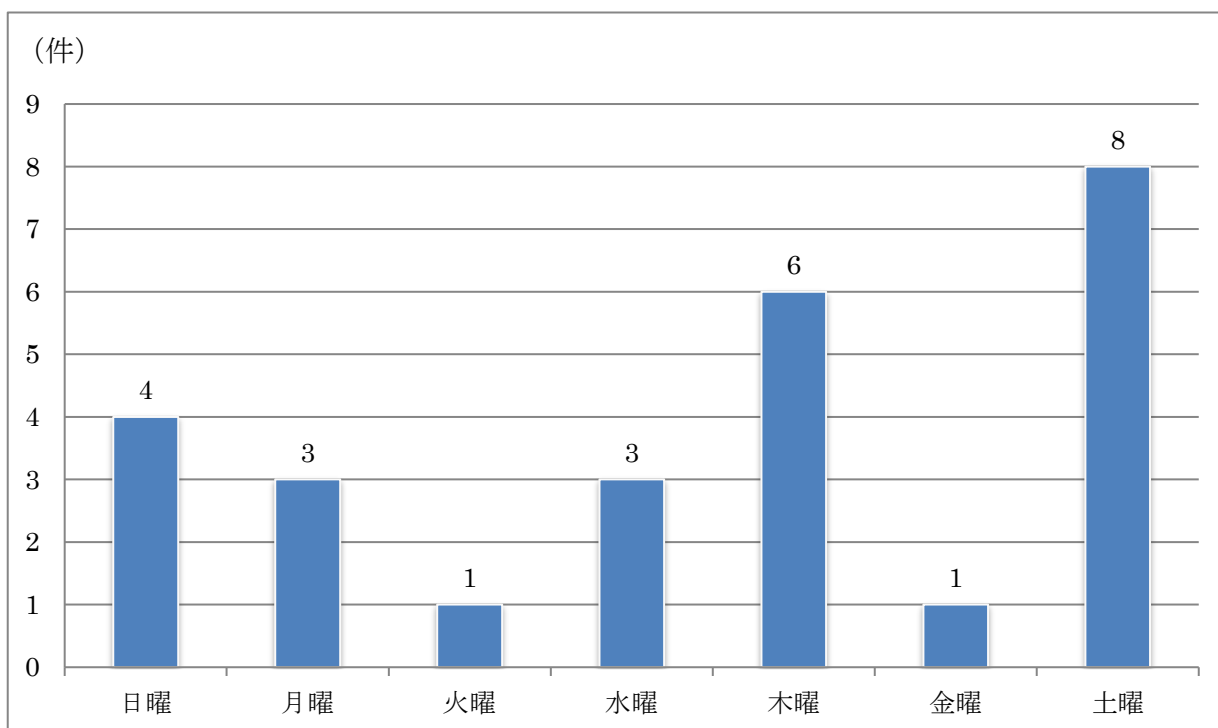
4 月別火災発生状況

月 別 区 分		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
火災件数	建 物	1	2	2	2			2	3			1	1	14
	林 野													
	車 両							1			1			2
	船 舶													
	航空機													
	その他	3		1		1	1	1	1	1	1			10
	合 計	4	2	3	2	1	1	4	4	1	2	1	1	26
損害額 (千円)	建物	13,507	18,244	941	23			61,809	13,857			11	1	108,393
	林 野													
	車 両							86			400			486
	船 舶													
	航空機													
	その他	0		1		0	0	11	49	1	0			62
	合 計	13,507	18,244	942	23	0	0	61,906	13,906	1	400	11	1	108,941
焼損面積	床面積 (㎡)	86	114		0			204	107			0	0	511
	表面積 (㎡)	0	3		4			0	155			0	0	162
	林 野 (a)													
焼損車両台数								1			1			2
焼損棟数	全 焼	1						1	2					4
	半 焼		1											1
	部分焼	1	2		1			1	7					12
	ぼ や	2		2	1			2	1			1	1	10
	合 計	4	3	2	2			4	10			1	1	27
り災世帯数		4	3		2			2	9				1	21
り災人員		5	12		4			5	17				1	44
死 者														
負 傷 者			1		1			2		1	1			6

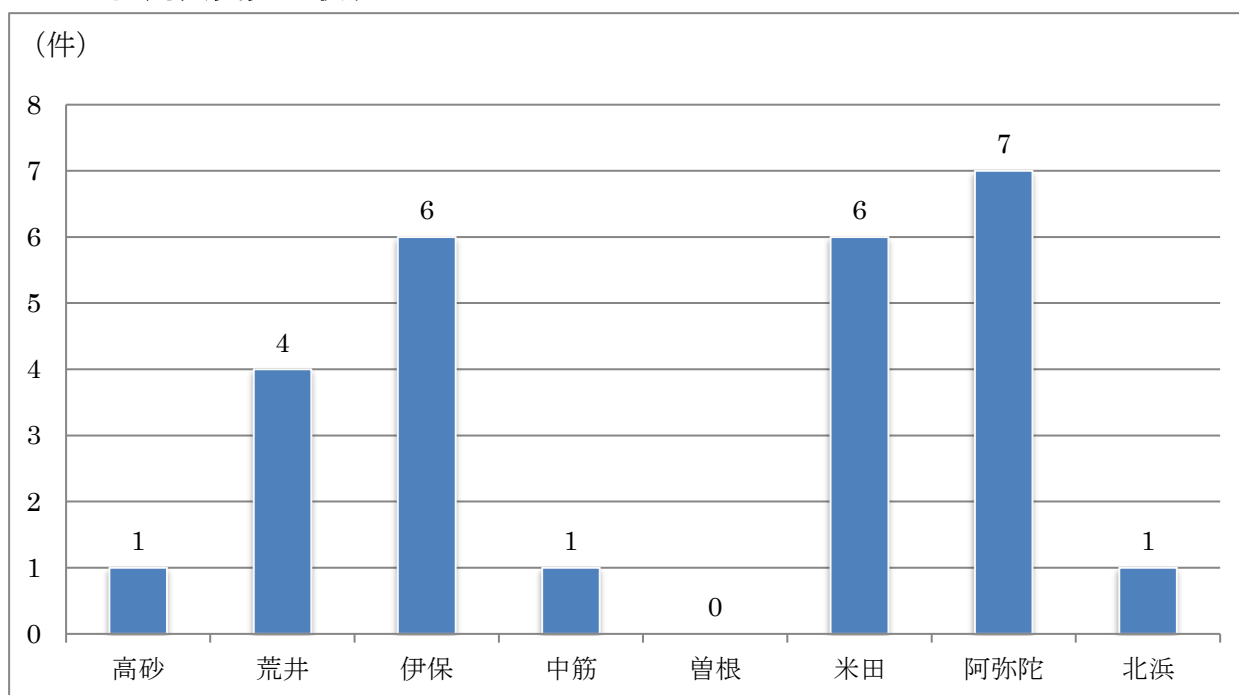
5 時間別火災発生状況



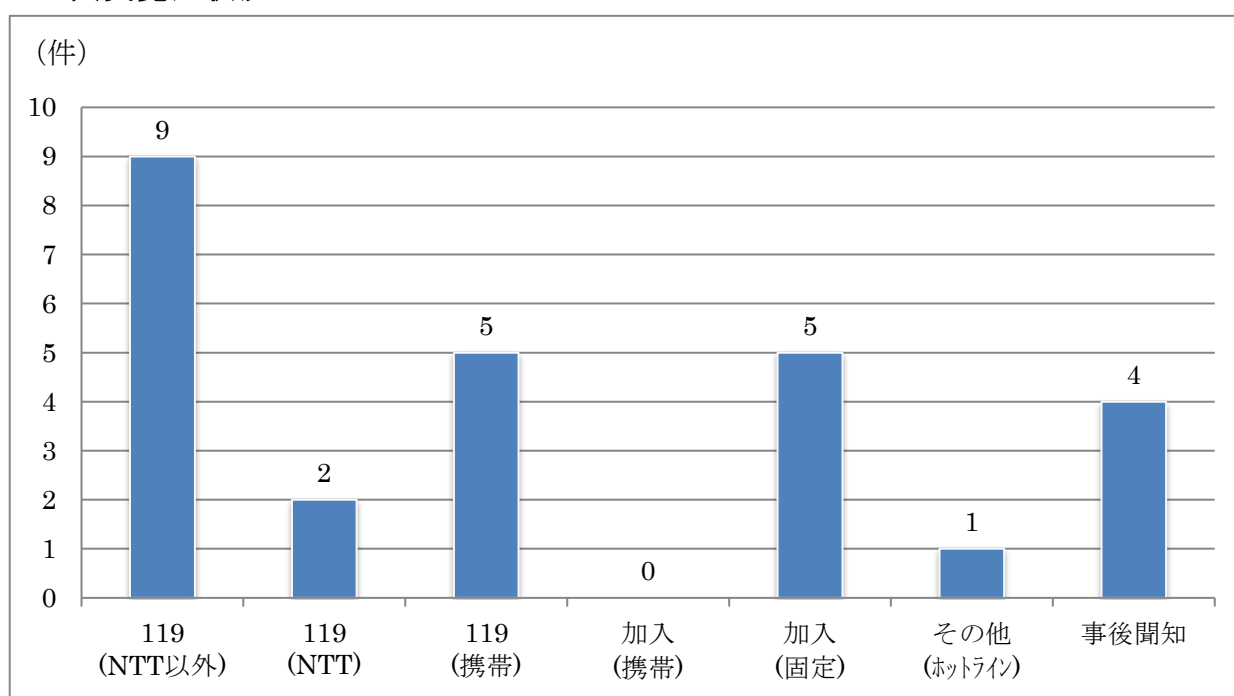
6 曜日別火災発生状況



7 地区別火災発生状況



8 火災覚知状況



9 出火原因及び損害額

原因別 \ 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	損害額 (千円)
火災件数	4	2	3	2	1	1	4	4	1	2	1	1	26	108,941
放 火	4		1					1					6	13,531
火 入 れ					1	1	1		1	1			5	4
電気装置			1					1					2	1,507
こ ん ろ				1			1						2	16
ストーブ				1								1	2	23
た ば こ								1					1	5,761
こ た つ		1											1	1,571
配線器具							1						1	61,794
そ の 他		1	1				1	1		1	1		6	24,734

10 初期消火状況

(1) 初期消火実施状況

原因別 \ 種 別	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計
火 災 件 数	14		2			10	26
初期消火実施状況 (初期消火のみで鎮火)	8 (5)		1 0			7 (3)	16 (8)
初 期 消 火 な し	6		1			3	10

(2) 初期消火器具使用状況

原因別 \ 種 別	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計
初期消火実施件数	8		1			7	16
粉末消火器	3		1			1	5
水道、浴槽、汲み置き 等の水をかけた	5					4	9
もみ消した						2	2

【救急】

1 救急の概要

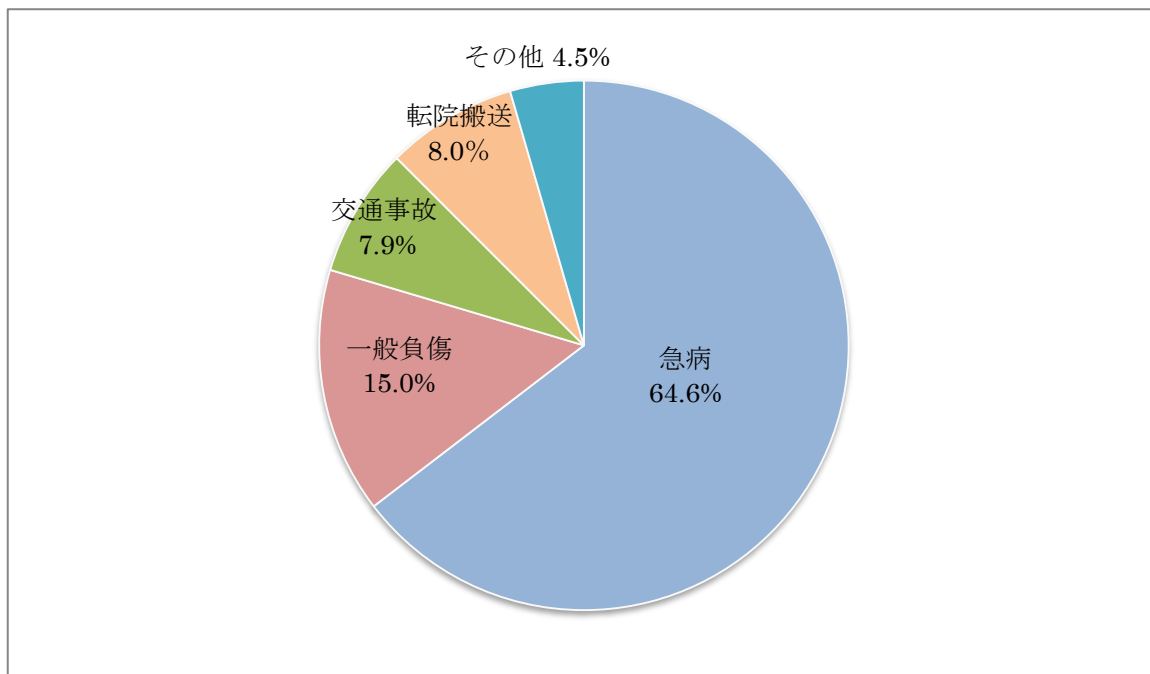
令和2年の救急出動件数は3,771件（前年比475件減）、搬送人員は3,392人（前年比455人減）となっています。これは、1日平均10.3件出動し、市民26人に1人を救急車で医療機関へ搬送したことになります。

区 分			出動件数	搬送人員
事 故 種 別	火 災		9	1
	自 然 災 害		1	1
	水 難 事 故		4	3
	交 通 事 故		299	260
	労 働 災 害		47	44
	運 動 競 技		16	16
	一 般 負 傷		564	513
	加 害		17	14
	自 損 行 為		40	24
	急 病		2, 436	2, 214
	そ の 他	転 院 搬 送	301	302
		医 師 搬 送		
		資器材等輸送		
そ の 他		37	0	
合 計			3, 771	3, 392

区 分		搬送人員
傷 病 程 度	死 亡	55
	重 症	238
	中 等 症	1,561
	軽 症	1,538
	そ の 他	
合 計		3,392

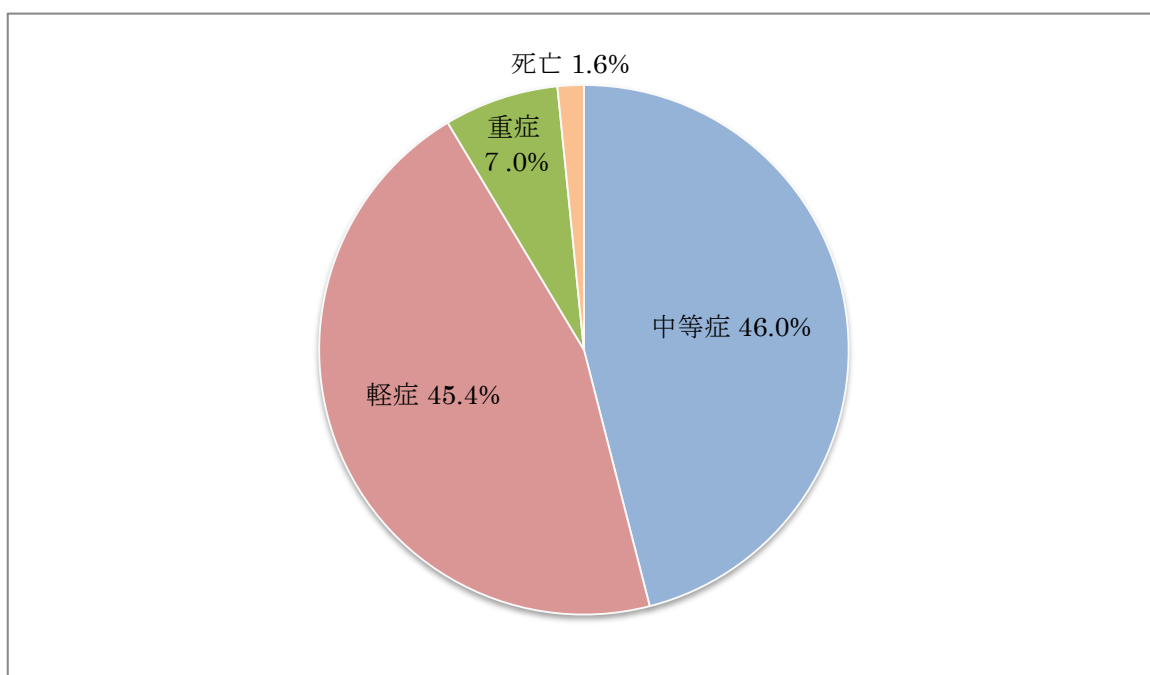
(1) 事故種別

事故種別では、急病が 2,436 件（前年比 303 件減）で全体の 64.6%を占め、次いで一般負傷が 564 件（前年比 38 件減）、交通事故が 299 件（前年比 80 件減）となっています。



(2) 傷病程度別搬送人員

傷病程度別搬送人員は、中等症が 1,561 人（前年比 58 人減）で全体の 46%を占め、次いで軽症が 1,538 人（前年比 384 人減）、重症が 238 人（前年比 13 人減）、死亡が 55 人（前年比増減なし）となっています。



(3) 新型コロナウイルス感染症について

出動件数について、年々増加傾向にありましたが、令和2年は前年から475件（11.1%）の減少となっています。事故種別毎に見ると、交通事故が80件（21.1%）、転院搬送が38件（15.7%）、急病が303件（11.1%）の減少となっています。

これは、令和2年1月に国内で初めて感染者が確認された新型コロナウイルス感染症の影響によるものと考えられます。4月には緊急事態宣言の発令もあり、多くの方が外出の自粛、感染防止対策（マスクの着用、消毒、手洗いの励行等）を行っていたことで交通事故や病気に罹るリスクが減少したこと。更に医療機関での受診を控える方が多かったこと等が要因として考えられます。その反面、症状が悪化するまで医療機関を受診しなかったために病状が悪化し、疾病程度については、入院加療を必要とする中等症が軽症を上回る結果となっています。

新型コロナウイルス感染症に係る出動については、4月から12月の間に陽性患者10人の搬送を行っています。

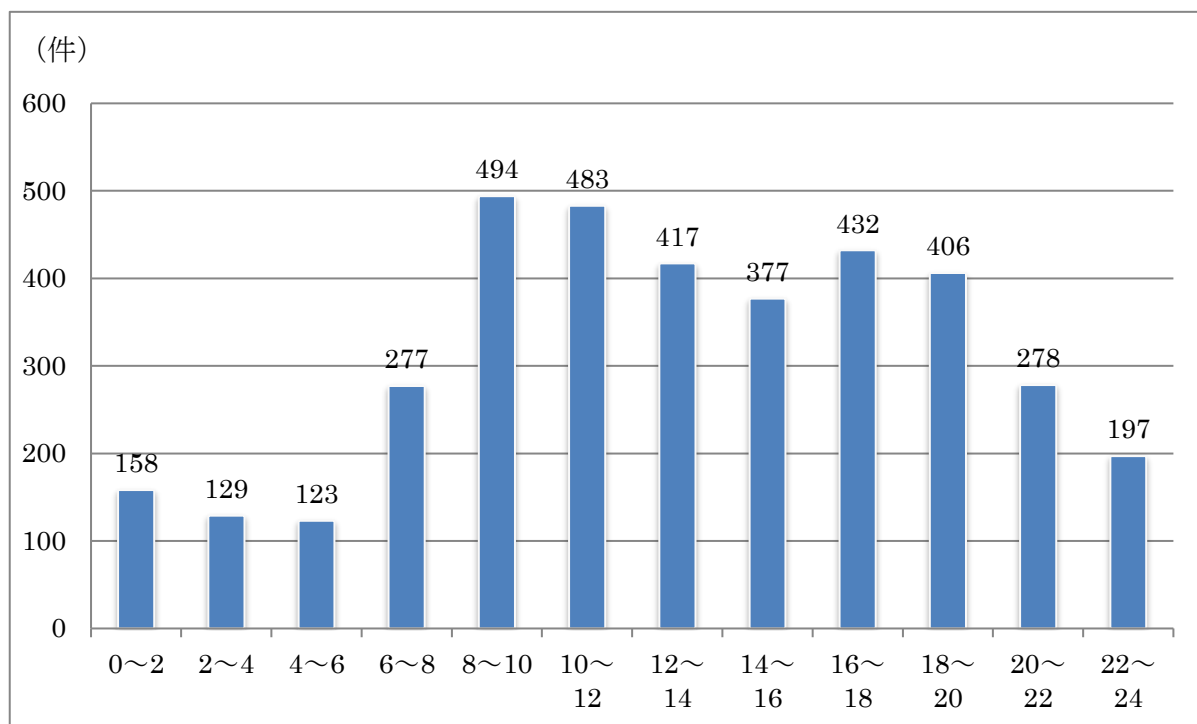
2 救急出動状況(前年との比較)

年 別 区 分		令和元年	令和 2 年	増 減 (△は減少)	
出 動 件 数		4, 246	3, 771	△ 475	
事 故 種 別	火 災		7	9	2
	自 然 災 害			1	1
	水 難 事 故		5	4	△ 1
	交 通 事 故		379	299	△ 80
	労 働 災 害		49	47	△ 2
	運 動 競 技		22	16	△ 6
	一 般 負 傷		602	564	△ 38
	加 害		12	17	5
	自 損 行 為		39	40	1
	急 病		2, 739	2, 436	△ 303
	そ の 他	転 院 搬 送	357	301	△ 56
		医 師 搬 送	1		△ 1
		資 器 材 等 輸 送			
そ の 他		34	37	3	
搬 送	不 搬 送		435	394	△ 41
	搬 送 人 員		3, 847	3, 392	△ 455
傷 病 程 度	死 亡		55	55	0
	重 症		251	238	△ 13
	中 等 症		1, 619	1, 561	△ 58
	軽 症		1, 922	1, 538	△ 384
	そ の 他				

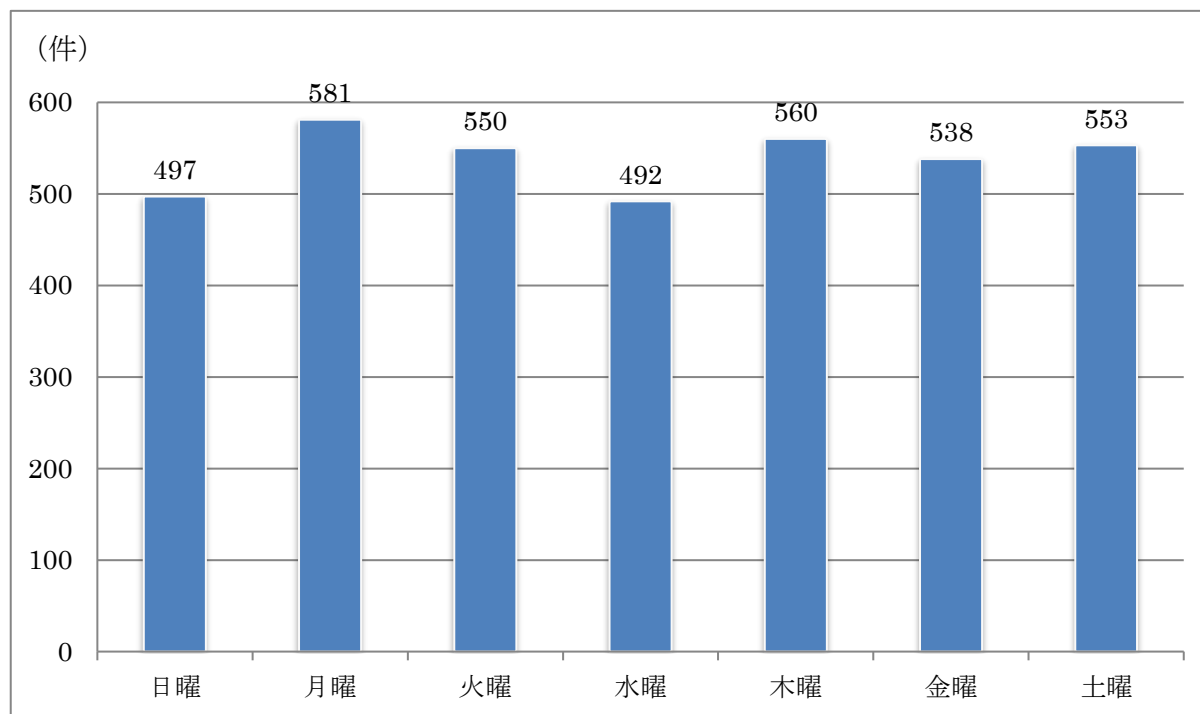
3 月別出動件数

月 別 区 分		1月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	合 計	
出 動 件 数		365	296	307	279	257	283	296	380	287	355	309	357	3,771	
事 故 種 別	火 災	1	2	1	1			1	2		1			9	
	自 然 災 害	1												1	
	水 難 事 故	1							1	1	1			4	
	交 通 事 故	22	21	21	19	23	25	22	27	31	24	29	35	299	
	労 働 災 害	3	2	3	2	3	6	4	12	4	2	3	3	47	
	運 動 競 技	1						1	2	8	1	3		16	
	一 般 負 傷	49	43	37	49	48	43	40	52	34	61	50	58	564	
	加 害	2	2	2	1	1	1	2	2	1		2	1	17	
	自 損 行 為	1	2	6	3	2	4	1	4	6	4	3	4	40	
	急 病	254	197	202	183	155	180	207	250	181	223	192	212	2,436	
	そ の 他	転院搬送	26	27	33	21	21	19	13	23	20	37	24	37	301
		医師搬送													
		資器材等輸送													
		そ の 他	4		2		4	5	5	5	1	1	3	7	37
搬 送	不 搬 送	41	31	23	26	24	38	26	42	30	42	26	45	394	
	搬 送 人 員	325	268	284	253	236	245	271	339	261	314	284	312	3,392	
傷 病 程 度	死 亡	8	5	1	5	6	3	3	4	6	9	3	2	55	
	重 症	25	12	23	21	14	18	15	22	14	28	22	24	238	
	中 等 症	146	126	131	116	118	120	126	153	94	139	126	166	1,561	
	軽 症	146	125	129	111	98	104	127	160	147	138	133	120	1,538	
	そ の 他														

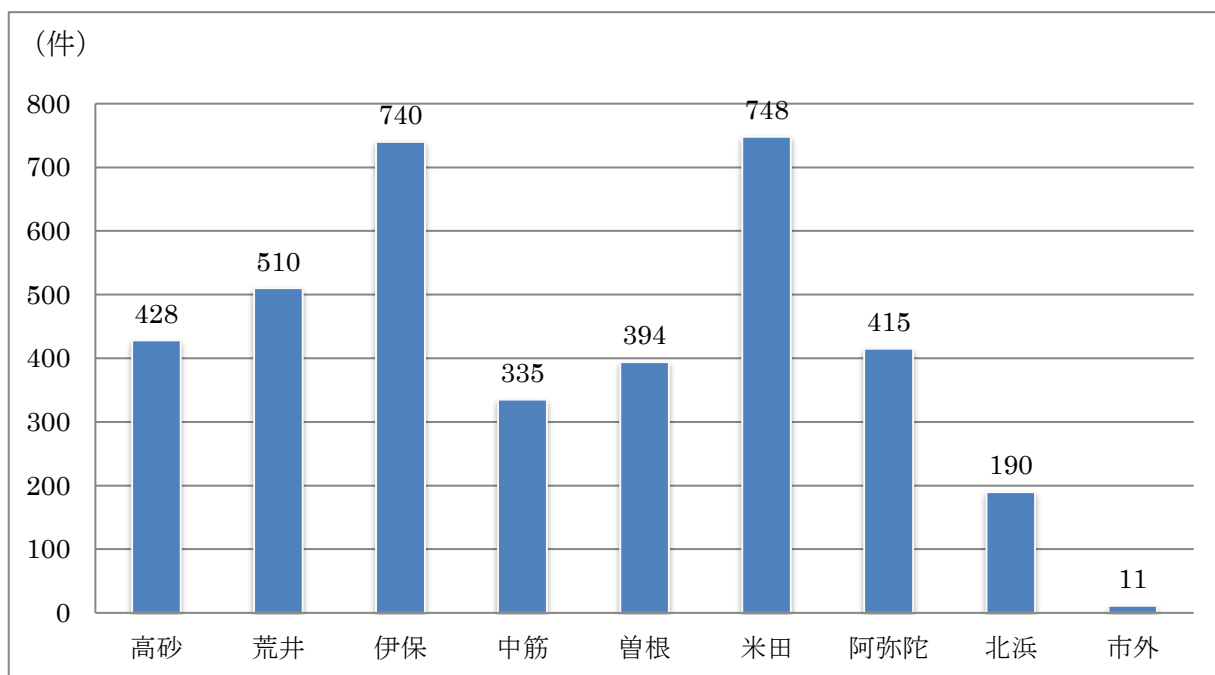
4 時間別出動件数



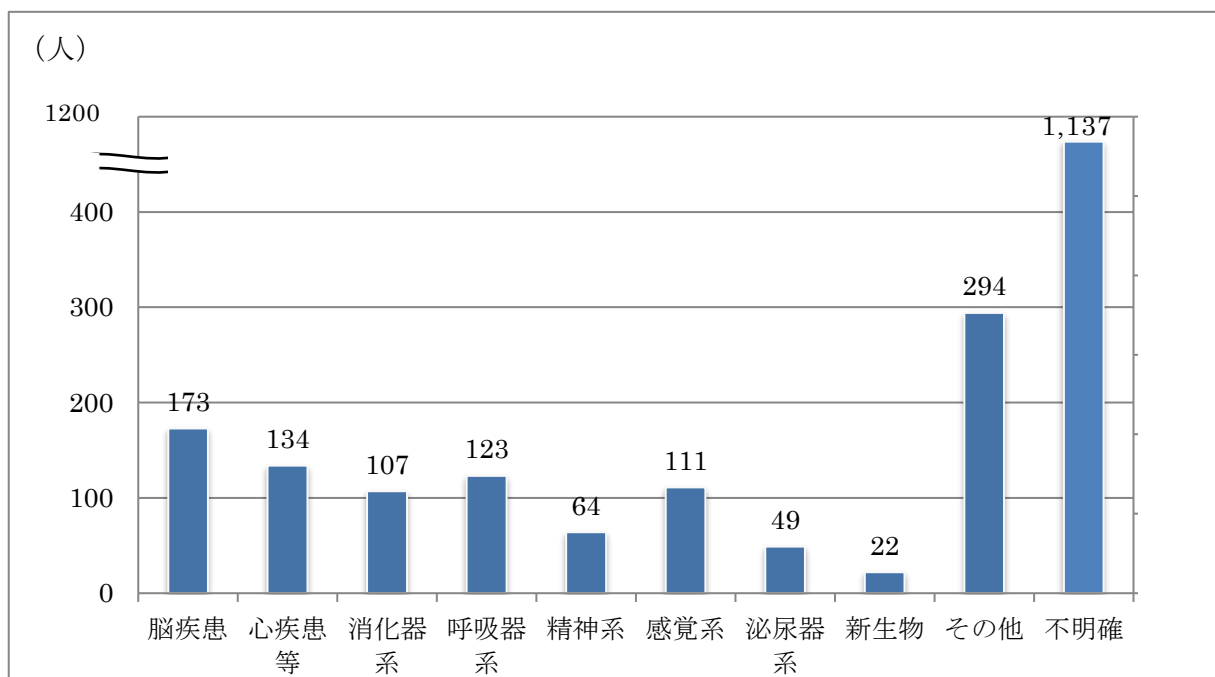
5 曜日別出動件数



6 地区別出動件数



7 急病にかかる疾病分類別搬送人員状況



8 現場到着所要時間別出動件数

通報から現場到着までに要する時間は、平均 6 分 53 秒となっています。5 分以上 10 分未満が 2,886 件と最も多く、全体の 76.5%を占めています。

時 間 区 分	3 分未満	3 分以上 5 分未満	5 分以上 10 分未満	10 分以上 20 分未満	20 分以上	合 計	現場到着 平均所要時間
急 病	20	334	1,918	163	1	2,436	6 分 59 秒
交通事故	5	52	212	28	2	299	7 分 11 秒
一般負傷	6	89	430	39		564	6 分 50 秒
上記以外	15	101	326	30		472	6 分 16 秒
合 計	46	576	2,886	260	3	3,771	6 分 53 秒

9 病院収容所要時間別搬送人員状況

通報から病院収容までに要する時間は、平均 32 分 38 秒となっています。30 分以上 60 分未満が 1,768 人と最も多く、全体の 52.1%を占めています。

時 間 区 分	10 分以上 20 分未満	20 分以上 30 分未満	30 分以上 60 分未満	60 分以上 120 分未満	120 分以上	合 計	病院収容 平均所要 時間
急 病	69	851	1,241	49	4	2,214	33 分 01 秒
交通事故	22	120	112	5	1	260	30 分 33 秒
一般負傷	27	189	282	15		513	33 分 17 秒
上記以外	23	228	133	20	1	405	31 分 03 秒
合 計	141	1,388	1,768	89	6	3,392	32 分 38 秒

10 年齢区分別傷病程度別搬送人員状況

年齢区分別の搬送人員は、高齢者が 2,180 人と最も多く全体の 64.3%を占めています。

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
死亡				9	46	55
重症		3	3	41	191	238
中等症	2	36	28	316	1,179	1,561
軽症	3	147	71	553	764	1,538
合計	5	186	102	919	2,180	3,392

新生児 生後 28 日未満の者

乳幼児 生後 28 日以上 7 歳未満の者

少年 7 歳以上 18 歳未満の者

成人 18 歳以上 65 歳未満の者

高齢者 65 歳以上の者

傷病程度は、初診における医師の診断に基づき次のように分類している。

死亡 初診時において死亡が確認されたものをいう。

重症 傷病程度が 3 週間の入院加療を必要とするもの以上をいう。

中等症 傷病程度が重症または軽症以外のものをいう。

軽症 傷病程度が入院加療を必要としないものをいう。

11 発生場所別搬送人員状況

発生場所別の搬送人員は、住宅が 2,134 人と最も多く全体の 62.9%を占めています。

発生場所 区分	住宅	公衆	仕事場	道路	その他	合計
急病	1,764	327	46	65	12	2,214
交通事故	4	7	2	243	4	260
一般負傷	340	78	2	79	14	513
上記以外	26	327	42	4	6	405
合計	2,134	739	92	391	36	3,392

12 応急処置実施件数

区 分 \ 事故種別	急 病	交通事故	一般負傷	左記以外	合 計
応急処置対象搬送人員	2,210	259	506	403	3,378
止 血	8	10	36	8	62
固 定	8	60	26	15	109
人 工 呼 吸	9		1		10
心 肺 蘇 生	79	2	1	7	89
酸 素 吸 入	377	12	21	85	495
気 道 確 保	100	2	2	7	111
うち経鼻エアウェイ ※1					
うち喉頭鏡、鉗子等 ※2	1		1		2
うちリング [®] アルマスク等 ※3	42			4	46
うち気管挿管 ※4	2				2
保 温	14	6	11	8	39
被 覆	9	36	114	21	180
在 宅 療 法 継 続	19			1	20
除 細 動	6				6
静脈路確保（輸液）	34	1	1	4	40
薬 剤 投 与	16				16
血 糖 測 定	6				6
ブ ド ウ 糖 投 与	4				4
血 圧 測 定	2,046	252	464	391	3,153
聴診器による心音等の聴取	986	82	144	123	1,335
血中酸素飽和度の測定	2,140	257	505	395	3,297
心 電 図	1,006	20	47	138	1,211
合 計	6,867	740	1,373	1,203	10,183

※1 経鼻エアウェイを使用して気道確保を行った件数を内数として記載

※2 喉頭鏡、鉗子等により異物除去を行った件数を内数として記載

※3 救急救命士がリング[®]アルマスク等を使用して気道確保を行った件数を内数として記載

※4 救急救命士が気管挿管処置を実施して気道確保を行った件数を内数として記載

【救助】

1 救助の概要

令和2年の救助出動件数は92件（前年比21件増）、活動件数は46件（前年比増減なし）となっています。

事故種別では、その他の事故が48件（前年比28件増）で全体の約52%を占めています。

救助人員は46人（前年比1人増）で、建物事故27人、その他の事故9人、交通事故7人、火災1人、水難事故1人、ガス・酸欠事故1人となっています。

区 分		出動件数	活動件数	救助人員
救 助 事 故 種 別	火 災	3	3	1
	交 通 事 故	12	6	7
	水 難 事 故	2	1	1
	自 然 災 害			
	機 械 事 故			
	建 物 事 故	26	26	27
	ガス・酸欠事故	1	1	1
	破 裂 事 故			
	その他の事故	48	9	9
合 計		92	46	46

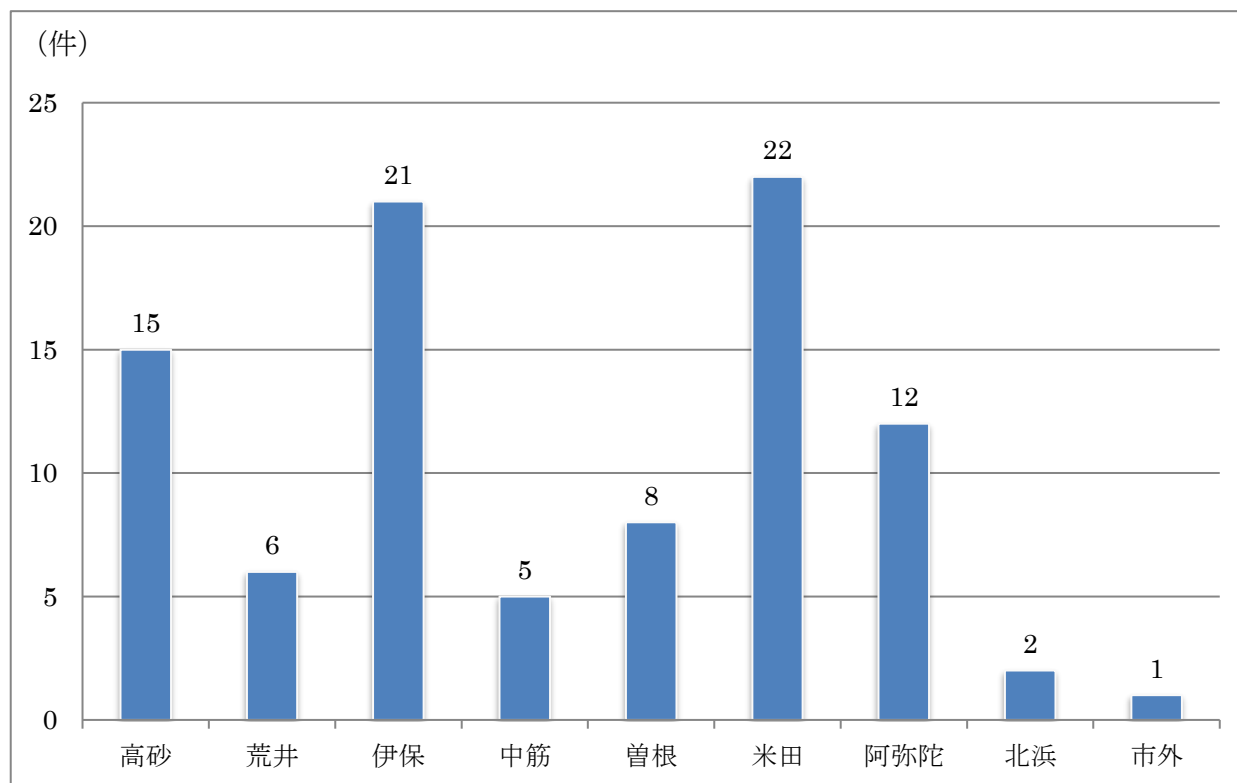
2 救助出動状況(前年との比較)

年 別 区 分		令和元年	令和 2 年	増 減 (△は減少)
出 動 件 数		71	92	21
活 動 件 数		46	46	0
救 助 人 員		45	46	1
救 助 事 故 種 別	火 災		3	3
	交 通 事 故	21	12	△9
	水 難 事 故	5	2	△3
	自 然 災 害			
	機 械 事 故	1		△1
	建 物 事 故	23	26	3
	ガス・酸欠事故	1	1	0
	破 裂 事 故			
	その他の事故	20	48	28
傷 病 程 度	死 亡	9	13	4
	重 症	8	6	△2
	中 等 症	12	10	△2
	軽 症	8	11	3

3 月別出動件数

月 別 区 分		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
救 助 事 故 種 別	火 災	1	1		1									3
	交 通 事 故	1	1		1		3		1	3	1		1	12
	水 難 事 故	1									1			2
	自 然 災 害													
	機 械 事 故													
	建 物 事 故	2	2	6	1	1		3	3	2		2	4	26
	ガス・酸欠事故						1							1
	破 裂 事 故													
	その他の事故	4	1	3	4	3	3	4	7	2	5	5	7	48
合 計		9	5	9	7	4	7	7	11	7	7	7	12	92

4 地区別出動件数



5 救助種別及び傷病程度別出動件数

種 別 区 分		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 事 故	建 物 事 故	ガ ス・酸 欠事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
出 動 件 数		3	12	2			26	1		48	92
活 動 件 数		3	6	1			26	1		9	46
救 助 人 員		1	7	1			27	1		9	46
傷 病 程 度	死 亡			1			12				13
	重 症		1				3			2	6
	中 等 症		3				5			2	10
	軽 症		2				5	1		3	11

6 救助種別及び発生場所別出動件数

種 別 区 分		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 事 故	建 物 事 故	ガ ス・酸 欠事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
出 動 件 数		3	12	2			26	1		48	92
屋 内	住 居	3					24			35	62
	その他の屋内						2			1	3
屋 外	道 路		6							2	8
	水 面		1							1	2
				2						1	3
	山 岳									5	5
	地 下										
	そ の 他		5					1		3	9